だけ私はちょっと問題があるんだというふうに思うんです。施政方針の中にも、コンパクトシティというふうにこれを目指して都市計画は進めますというふうに触れて、今回の総合計画にも、あるいは11月の28日でしたか、あった講演会にも参加をさせていただきましたけれども、そこにもコンパクトシティの考え方、これがこれからは基本ですよという講演がありました。だけど、本当にこれでいいのかなというふうに思うのは私だけではないと思うんです。コンパクトシティというのはそもそも何で、これから長井市の場合、まちづくりの基本をコンパクトシティとは言っていないけど、総合計画では、コンパクトなまちづくりと言ってるけど、だけどコンパクトシティのその考え方で進めるということであれば、少なくとも中心の中央地区に住んでる人以外の周辺の市民の方々にもコンパクトシティというのはこういう中身で、そしてこれには国土交通省や旧通産省なども全部それにシフトをして補助メニューなどを用意してるんだと。だからこれに乗ってまちづくりを進めますという中身をちゃんと知らしめていかないと、私はこの総合計画で進める、みんないいって言ったからそれで進めると言われたって、必ずそごが出てくると思うんです。これは少し議論をしていかなきゃいけない問題ではないかというふうに私は思いますけれど、それをもう少し時間の余裕いただいて議論する機会をとっていただけませんか。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 時間も余りありませんので短く言いますが、答申では確かにコンパクトなまちということで、私もコンパクトということについては時代の方向性だろうというふうに思っていますが、私はコンパクトシティという考え方ではありません。中心市街地は活性化しますし、例えば市のいろんな公共施設などはこれから郊外につくるということはできないんじゃない

いかと。しかし、長井は中央地区を中心に5つの地区が非常に効率よくまとまってるまちですので、そういった意味でコンパクトシティだと言ってらるんですね。過疎地域ありませんし。

ただし、その中央地区だけじゃなくて5つの地区については小学校と地区公民館、あるいは児童センター、そして体育館、こういったところをきちっとこれから少なくとも10年間は、できれば20年間は堅持できるんじゃないかと。そういった意味で長井のまちだけが中心じゃなくて、6つの地域、残りの5つの地域もそれぞれに真ん中にきちっとした機能を持たせていく。それが長井にとっては一番コンパクトで機動的でいいまちだというふうに私は思っておりますので、これから答申を受けて実施計画つくる際には、その辺は私の考えどれだけ反映されるかですけども、誤解を与えないような形で市民にお知らせしたいと思えますし、ぜひ一度いろいろ議論させていただく場を設けたいと思えますので、よろしく願いいたします。

○大道寺 信委員長 14番、高橋孝夫委員。

○14番 高橋孝夫委員 時間がありませんから終わりますけれど、こういう国土交通省なんかで出してるやつがあるんです。これを見たら、だけど驚きですよ、やっぱりこの考え方。私は、少なくともこの議論を進めていかないと総合計画の考え方、納得してもらおうというのは難しいだろうというふうに思いますので、ぜひ議論させていただきたいということを申し上げて終わります。ありがとうございました。

今泉春江委員の総括質疑

○大道寺 信委員長 次に、順位3番、議席番号4番、今泉春江委員。

なお、今泉春江委員から資料の配付について申し出があり許可いたしましたので、ご報告いたします。

○4番 今泉春江委員 日本共産党の今泉春江でございます。よろしくお願いいたします。

一般質問でも質問しておりますが、答弁漏れや納得のいかないところがございますので、再度この場で市長にお伺いいたします。明確な答弁をお願いいたします。

まず、長井市における税の差し押さえによる強制徴収の実態と問題点について伺います。

さきの一般質問でも申し上げたとおり、長井市では市税で県内13市トップの収納率となっております。市長は、市民のご理解、職員の努力と言っておりましたが、確かにその一面はあります。しかし、その中で差し押さえ収納は件数で959件、金額では5,348万円余りになっています。お配りした税務課より提出していただいた資料によりますと、置賜3市5町で異常と思えるような断トツの多さの件数、金額になっています。これをどうお考えでしょうか。

また、平成20年度から昨年24年度の5年間を見ても、件数で3.73倍、金額で3.12倍となっております。市税、国保税、収入全体に占める割合が3.5倍に急増しています。このことも同時にどうお考えでしょうか。

また、小国町の差し押さえ件数は12件ですが、収納率は長井市よりも高い99.30%です。こうした違いはどこから出てくるのか、お考えをお答えください。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 今泉委員のご質問でございますが、確かに長井市の差し押さえ件数は非常に多いということで、これは必ずしも喜ばしい内容ではございません。

例えば小国町のほうで、置賜では一番収納率いいわけですが、なぜ小国町がいいのかというと、私どもほど差し押さえはしておりませんし、

かといってじゃ特別丁寧な相談収納の窓口を設けているかといいますと、そういった事情でもないというふうに担当のほうからは聞いております。やはり地域性であったり、あるいはいろんな事情によって収納率が高いということだと思います。過去にさかのぼって、例えば小国町がどういった収納対策をしてきたということについては、今後いろいろ学ぶべき点があるかと思えます。

県内35の市町村の中で市は13あるわけですが、私ども長井市はここ一、二年非常に成績がよくなって現在はトップだということですが、過去10年ぐらいさかのぼりますと最下位、15年ぐらいですと全くの最下位ということでございました。もともとやはり都市自治体といわれる町、村の自治体とでは納税意識に少し開きがあるのかもしれませんが、私どもとしてはやはりそういった町、村では差し押さえすることなく、そういう収納率が高い、納税意識が高いということを私ども学ばなきゃいけないと思っております。今後、小国町等々そういった差し押さえをしなくて収納率高いところに研修等を行いながら、そういった方向性を目指していかなきゃいけないというふうに思えます。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 まず、小国町のことを最初にお答えいただきました。小国町では、特別丁寧な窓口対応はしていないというような、そして地域性が特別ではないかというようなこともおっしゃいました。長井市でも、特別な窓口対応をしてなくても本当にこの差し押さえでない納税、収納ができるということになるのではないのでしょうか。

私が質問しておりますのは、この長井市がなぜこんなに断トツの件数、金額になっていますかということを市長としてはどう捉えているか、そこをもう一度お聞きします。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 大変私の不徳であります、こんなに件数が多いというようなことは承知しておりませんでした。責任は全て私にあるわけですが、委員もご承知だと思いますが、私ども選挙で選ばれる人間にとっては、市民の皆さんが喜んでもらえる、あるいはいい政策をしてもらってるなというふうにそれを喜んでもらうようなことをしたいわけですね。

しかし、一方で差し押さえされて喜ぶ人はいませんから、やっぱりそんなことはしたくないです。ですから、正直言ってこんなに断トツに多いというのは現場の実態を残念ながら私は全て把握できておりませんので、職員は恐らく何とか収納率を上げて、その後々滞納をなくすことによってその後が楽になる、ご本人にとっても、あるいは市にとっても。そういったことで使命感を持ってやっていただいたと思うんですが、ここについてはどう思うかと言われると、やはり非常に複雑です。何としても収納率を上げて、一生懸命働いて苦労して納めていただいている方もいらっしゃるわけですから、平等性という意味からいってもそれはある程度しなければいけない部分もあるかもしれませんが、かといってやはり差し押さえられた方のことを考えますと非常に気持ちが重くなるわけですが、これからこういった差し押さえを徐々に少なくしながら、収納率がそれでも下がらないというような取り組みに変えていかなきゃいけないんじゃないかなと。

かといって、今、差し押さえをした職員そのものを責めることもできない。ですから、よりどうしてもいろんな事情があって納められない方がいらっちゃった場合は、相談に来やすいようなそういった取り組みの工夫を、あるいはそういったチャンネルをしっかりと検討していきたいというふうに思っているところです。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 もう一つ、5年間ですご

く差し押さえによる収納率、件数がふえております。これもやはり単なる職員の努力だけということでは市長はお考えなんでしょうか。そこも一言お聞かせください。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 先ほどから申し上げましたように、職員が悪くて私が正しいなんていうことは一切言ってません。責任は私にあるので、ただ、こういう実態を今泉委員からご指摘いただいて初めてわかったということもありまして、これは私として恥じるべきことであります。

したがって、先ほども申し上げましたように、これからはできるだけ差し押さえをまたより一層少なくできるように、相談窓口などの取り組みも丁寧に行っていくように検討してまいりたいということでありまして、3.5倍になったのはどう思うかということについては、決していいことではないと。先ほども申し上げましたように、県内一差し押さえ件数が高いということは自慢できるというのは、私はそんな気持ちは毛頭ありません。むしろ恥ずべきことであります。

しかし、現場の職員は一生懸命やってるんだと思いますので、やはり千数百ある事務事業一つ一つ全て把握することは残念ながら物理的に不可能でありますので、特にこういったところは注意して、私も今後は市民の皆さんが困ったというような苦情が出ないようにしていきたいと思っております。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 前向きなご答弁でした。

では、次に参ります。市長は、市は相談収納をしているとこの間答弁いただきました。今のご答弁とちょっとまたお考えは違ってくるんじゃないかと思えますけども、その実態はどうかについて伺います。

私が一般質問で示した実例も相談収納というのでしょうか、お伺いします。

また、新たな例として、昨日また相談を受けました。この12月13日の年金振込日に銀行に行ったら、残高が支給額と全然違うので銀行の方にお聞きしましたら、役所で持っていきましたとの返事で驚き、すぐ税務課に伺い、係の方にこの年金がないと生活がしていけないのでどうにかできないかとお願ひしても容赦のない返事で、自分は頭が混乱し、精神的にも肉体的にも大変落ち込んでしまいましたと私に相談されました。この方は、数カ月前に8月の年金で納税すると約束していましたが、子供の病気やそのほか家庭の事情で納めることができなかったそうです。せめて電話などでもいいから、約束の納税はどうしたかなど連絡してほしいと話されておりました。

また、この方は前の係の方は時々訪ねてこられて相談にも乗っていただき、分納などにもしてもらったそうです。お名前などもおっしゃっておりました。この職員のように、どうして相談に乗ってもらえないのか。納税しない自分が悪いことはわかっているが、納税者に納得した徴収をしてほしい。取ればよいということではない、とても憤慨だとも言っていました。

また、この方は、上からの目線で人を殺す寸前まで追い込むような絶対譲らない強硬な態度の長井市のやり方はひどいと話されておりました。これはご本人がおっしゃった言葉そのとおり申し上げております。係の方にもいろいろ差はありますでしょうが、市のこのようなやり方を恨むとも言っており、この後のこの方の生活を思うと胸が痛みます。

市長は差し押さえ徴収のこの実態を知っていますか。この実態をどう思うか、端的にお答えください。先ほどもちょっと市長からご意見を伺いましたけど、再度また質問します。

一般質問の答弁で、市長は、市民が議員に税を納めるのでないのに、なぜその前に市に来ないで議員に相談に行くのか理解できない。滞納

者は納税意識が足りないとも思われるとも言うておられました。これはとんでもない答弁ではありませんか。質問で取り上げた相談者は、市に相談に行って解決しなかったので私に相談に来たのです。答弁は事実と反すると思います。

また、市に相談に来る前に議員に相談に来てなぜ悪いのでしょうか。相談収納がされていないから、議員に来るといのが実態ではないでしょうか。このことをどう思いますか、お答えいただきたいと思ひます。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 幾つ答えればいいのかちょっとわからなかったんですが、いっぱい質問いただいたので。

まず、最初の実態を知ってたかということについては、私は全く存じ上げておりません。やはり九百数十件の差し押さえがあるということですから、一つ一つの差し押さえについてはいろんな事情があつて喜んでる方なんて誰もいらっしやなくて、本当に困つたと。恐らく当てるにしておつたお金が入らない。その落胆というのは大変厳しいものがあるということは容易に理解できます。

今回については、改めて今泉委員からこういう指摘いただいたものですから、そのケースについて職員を呼んで聞いたところ、やはりずっと相談いただいていた方だと。なかなか払えないので分納でということで、しかも年金の収入なものですから、年金を分納ということで何回かに分けてお願いしてたと。それが約束の2回連続で納めてもらえなかったということだったと。やはりその納税者の方はいろんな事情があつて、多分相談しにくかつたと思うんです。でも、税務課のほうの職員はやはり2回も事情をお話しにならずに納めていただけなかつたのでということで手続をとつたという話でした。今回のケースについては、一つ一つのケースいろんなことがあるので、それを一々私がいろいろ

指示するというのはなかなか不可能なんですが、今回のケースについていえば、今泉委員がおっしゃるようにもう一回相談しましょうと。差し押さえますよと言ったら、当然差し押さえにならないようにご本人はなさるわけですから、ですからそういうことは職員は言わないはずなんです。ですから、ちょっと来てくださいと。あるいは時間都合悪かったら私のほうで伺いますから、何時がいいでしょうかということをご相談して、それからの払っていただく方法について相談をしなきゃいけないんじゃないかなというふうに思っております。

やはり一旦差し押さえさせていただきますと、これは支出という行為になるわけですね。もうすぐ入りますから。そうしますと、いただいた税金を返納するというのは何か理由がないと返納できませんので、そういった意味で今回のケースがないように、やはりさらに職員の負担も大きいと思いますが、きちんとしなきゃいけない。職員をこたしそういったことでできるだけきめ細かくできるように1名収納係をふやしたんですが、なお今後もそういったことを検討させていただきたいと思います。

あと、2点目はどれだったかですが、前回のことだったと思うんですが、議員のほうに相談に行つてうちに来ないというのはおかしいんじゃないかということですが、今泉委員がおっしゃったのはずっと一般質問の中を通しての発言ですので、私が言ったのは今泉議員に言って市の税務課に先に来ないというのは納税意識が低いということは言ってないはず。それはずっと長い一般質問の中での話ですから、納税意識がないから市の税務課に来ないということは、私、直接言ってないと思います。ですから、それ言ってたとしたらそれは私のちょっと言い間違いでありますので訂正させていただきますが、そういうつもりで私は言っておりません。

この間の一般質問のケースですと、たしか差

し押さえされた後、税務課のほうに来られたんですね、返してくださいと。それは先ほど申し上げましたように、一旦収納しますと今度は支出という行為になるわけですから、これはなかなかできないということで、それで困ったということで今泉議員に相談に行かれたと思うんですが、私が申し上げたかったのは、やっぱり何回も何回も手続踏んでるわけですから、文書で10日以内に差し押さえますというそういった通知はさせていただいているはずなんです、2回ぐらい。それと、あと電話での催促とかありますので、その段階で一度連絡いただきました。そういうことが相談収納につながるわけでありまして、そこを全く無視してしまいますと差し押さえをせざるを得なくなるというようなことで今まで来たわけですが、ただ、これからは収納率1番になったからといってがむしゃらにそういったことをするという理由で今までやってきたわけじゃないですから、あくまでもちょっと3年4年ぐらいは厳しい差し押さえなどもさせていただきまして、これからはいわゆるだんごになった、もっこになったところは充分なくなってますから、しばらくはそんなに差し押さえなどをできるだけ避けて、むしろもっともっと相談にお越しいただくような環境づくり、あるいは対応などに力を入れてまいりたいと思います。

あと、何か。あらかじめ質問項目をお聞きしてないものですから、ちょっと抜けたところがあったらご指摘いただきたいと思います。以上です。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 まず最初に、納税意識が足りないんでないかというのは、私の一般質問で最初のときに滞納金額が多いし差し押さえが多いことについて市長がそういうふうにお答えして下さったことです。直接このこととは関係ないんですけども、ここででなくてそのとき

に申しあげたことで、やはりその滞納ということで差し押さえということで私が今ちょっと申しあげたところでした。

ですから、市長のおっしゃるようにこの私がこの間の事例2つ、それから今回の事例を1つ、幾つかの相談があったうちの3例をお示しましたが、この方たちはやはり確かに督促状の中には下のほうに小さく差し押さえもというような国税徴収法にのっとりみたいな、小さい文字では書いてあります。ですけれども、預貯金の差し押さえというのは突然何の前ぶれもなくというか、何の知らせもなく突然来るわけですよ。やはり差し押さえされて初めて、ああとご本人は思って、やっぱりご本人もその前にちょっと相談してればよかったなと確かに皆さん思はずです。

そしてもちろん今も申しあげたとおり納税は私たちの義務だから、納税しない自分が悪いと皆さん相談にいらした方はそういうふうにおっしゃいます。ですから、相談に来てくださいと。そうすれば相談に乗りますからというふうにおっしゃいますけど、やはり相談に行けないという、自分に納めないという非があるというか、やはりそういう負い目を感じると言うところちょっと言葉は大変失礼なこともあるかもしれませんが、そういうような気持ちが中にあるわけですよ。そして、やはりないものは納められないと。やはりどうしたらいいかと。やっぱり生活が第一になってしまいます。やはりそこを差し押さえする前に何とか、電話を下さいとおっしゃいますけど、税務課さんのほうから、市のほうからどうしましたという電話を差し上げていただきたいなど。そうすれば、また差し押さえでなく納めていただけるような方法が出るんじゃないかと思えますけども、いつも来てください、来れば相談に乗りますと何回もいつもおっしゃって、係の方も市長もそういうふうにおっしゃいます。それができないんですよ。

できない市民が悪いのか、と片づけていいのかどうか。やはり職員というか、市民のためにやはり気を使っていただくというか、そういう気持ちの方が大切でないんじゃないかなと思います。

ですから、この3例を示しましたが、本当にこの方たち、私の示した3人の生活を思うと、市長も大変だということを、申しわけなく思っていますというようなお答えでしたけども、本当に大変なんです。どうしていいかわからないと。本当に収入がこれしかないという人たちのために。ですからその前にちょっと一言お電話なりお伺いして、そこを相談していただきたいなどは思うんです。市長、どうでしょうか。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 どうもこの相談収納という部分で、今泉委員がおっしゃってることと私、あるいは税務課で言ってることで少しかみ合わない部分があるんですけども、前回の一般質問でも申しあげましたが、まずは最初、文書で通知をさせていただきます。おくれた後、2回ぐらい行っているはずなんです。その前後、電話で嘱託の職員等が問い合わせをさせていただいているんですね。お忘れでないでしょうかとか、ぜひお早目に納税くださいとかそういうことをして、徴収員というのはずっと回ってますので、お願いにも回ってる職員も2人いるんですね。そこでも例えば日中留守にしておられて全然接点がなかったという場合に、こちらのほうで本当は連絡して市の職員が回ればいいということをおっしゃってるんだと思うんですが、前回も申しあげましたが、24年度の決算の状況でいいますと、24年度単年度分で市税に関して649件の滞納の方がいらっしゃったと。内訳が619人が個人、30法人あります。国保税が334名いらっしゃいます。合計で24年度分で983件。これを回るというのは実質不可能だと思います。

あと、これに前の年の繰り越し分があるわけですよ。繰り越し分が2,034件あるんですよ。

ですから、これを4人で回り切るといのはなかなか難しいと。でも税務課のほうに確認しますと、払いたんだけどいろんな事情があって払えないので、ちょっと相談したいと。なかなか日中役所に行けないから、いついつどこどこでということであれば出向いてということなんですよ。しかし、それをこちらからいついつ行くからなというようなことではなくて、させてもらっているということなので、やはり今泉委員おっしゃるように敷居が高くてとても市役所に来れないと。それは義務感があればあるほどむしろそういう人のほうが大変なのかもしれませんので、もう少しこれからそういったところの、気軽という言い方はおかしいんですが、少しでも心安く来ていただけるような取り組みの工夫をさせていただきたい。

できるだけ児童手当はもちろんですけれども、年金も差し押さえなんかしたくないわけですよ。私、それ聞いたらやめろって言いますよ、職員には。けども、そうもいかないところがあるわけですよ。ですから先ほども言いましたように私ども人気商売ですから、そんなことしてあの市長はいい市長だなんて言う人は誰もいませんよ。あのやろうとんでもないと、こうなりますよ。そんなことは私も言われたくないんですよ。でも、しかしそれでも平等性といった意味からはいたし方ないところがあります。ただ、やり方はちょっとこれからは変えていかなきゃいけない。今までの反省の上で、何とかそういう体制を少しでも早く構築するように努力してまいりたいと思いますので、今泉委員からはもしそういうご相談などありましたら、ぜひ一度、お一人だと大変ですから、今泉委員から職員を呼び出しして、ちょっと相談にでも本人と立ち会いで乗っていただくとか、そんなことで一人でも多くの皆さんに苦しい思いをさせないようにしたいと思いますので、よろしく願いたいと思います。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 今後はこういうやり方を変えていくというような市長のご答弁でした。

相談収納ということで、私は市役所の相談収納をしている実際現場を拝見したことが、拝見と言うとおかしいですけど、あるお店へ行きましたら若い女性の方が何か集金にいらしたんですね。そしたらその、自営業者でしたから経営者の方が、いや、私、固定資産税がすごく高いもので。その方は大きな建物を持って、自宅も大きい。それから、アパートとかそういう借家も持っていたりして確かに場所もいいし大変だろうなということで想像はしていましたが、いや、大変で一遍にはとても払えないものだから、前の係の方のときから分割して、そしてお店もしているものですから、昼間銀行にも行けないもので集金に来てもらってるんですよ。そして、若い女性職員が集金にお邪魔してたところでした。それを私におっしゃってくださいって、いいことだね、そこまで役所で来てくださってるのだがなんていう話をしたところでした。確かに市長のおっしゃるようにそういういろんなところで市民の要望に応じているというかね、そういうところで相談収納等はなさっていることを確認いたしました。

ですから、やはりそれは一つの例でございますけれども、差し押さえでなくやはり差し押さえでお互いに気分悪い思いで税金を納めていただくよりもやはりそこを納得した、今回の例でもそうですけれども、やはり大変でしょうけど、それが税務課のお仕事ですから、やはり差し押さえられてどうしたんだと市民が言って、それを説明するときも本当に大変な思いで説明なさっていると思います。市民の方も本当に気持ち、そこでいろいろ説明聞いたり自分も大変な思いで役所へ問い合わせるわけですから、そうなる前にぜひ職員もふやしていただいて、それは職員1人ふやすとどうのこうのとか、今まで行財

政改革をして大変な思いもしてきて、なかなか大変なんですよというようなことも前の平成24年度あたりの質問でも市長がお答えになってます。ですけどもここは市民へのサービスということで、きめ細かく必ずしも回るということでなくても電話なり連絡をとるなり一言、やはり市民の納税意識を喚起させるためにも、やはり相談収納ということに努めていただきたいと思うんです。

そうであれば、また次年度もいろいろ親切に、やはりこういう話があるんです。前の職員の方にいろいろ親切にさせていただいたものだから、やはり税金は納めんなねなということを直接お聞きしたことがあるんです。やはり職員も人間ですから、やっぱり人間と人間とのこのかかわり合いの中で親切にさせていただければ、きっとそれが市民の納税意欲とか納税意識を喚起させることにもつながると思います。そして、市民のほうからどうしたらいいかなというふうに相談に伺うようになると思います。ぜひそこは長井市の徴収の仕方というものをもう一度、今、市長もおっしゃったように考えていただき、相談収納も、相談ができるような窓口なども考えていただきたいと思います。

では、次の質問に参ります。一般質問でも申し上げましたが、広島高裁松江支部の判決に関する受けとめについてお伺いいたします。

私は、一般質問で事前に質問原稿も提出し、最高裁判例と広島高裁の判例を示し、差し押さえ禁止財産の差し押さえをやめるよう要請しましたが、市長は違法とは思わない、なぜ違法かというようなことで反論いたしました。

広島高裁松江支部判決は、鳥取県が上告しないことを決め、また原告も上告しないと決めたため確定いたしました。鳥取県が上告しなかったのは、最高裁の判例も差し押さえの原資が差し押さえ禁止財産と認められるときは差し押さえられないと認定しているためと思われま

市長は、広島高裁判決の意味を重く受けとめるべきではないでしょうか。一般質問で国の通達を見てから判断するとの答弁でしたが、この件について直ちに国に照会すべきだし、こうした判例が出ている以上、国の通達にかかわらず明確な差し押さえ禁止財産の差し押さえは直ちにやめ、差し押さえ金は返還すべきと考えますが、どうでしょうか。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 今泉委員からは、11月27日、先月出ましたので、差し押さえしたものの、これは児童手当のことだと思うんですが、については返還して、国から通知来るのじゃなくて、こちらから問い合わせしろということなんですが、まず一つはこちらから問い合わせして国のほうで口頭でこうしなさいということは恐らくありませんので、やはりこれはきちんとした文書によって正式には判断したいというふうに考えます。

ただし、児童手当を差し押さえたというのはこの間、Bさんの件でしたか、あれは232円で結局差し押さえはなっていないわけでありまして、単なる普通預金を押さえた。手当を押さえたわけでありませんので、これはたまたまです。その時点ではあの判例が出ておりませんでしたので、これは不幸中の幸いだったわけですね。ですから、それをお返しするということはまず考えておりません。これから児童手当を差し押さえるというのは当面ないわけですし、その間必ず国のほうから通知が来るというふうに思っていますし、もし通知が来なくてもそういった判例が出ておりますので、長井市としては例えば隣の鳥取県の知事あたりもそれは慎重に対処したいというようなコメントなども出ているようでありますので、私どももそういったことはしないで、児童手当の差し押さえ等はこれは慎みたい、そのように考えております。以上です。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 今、市長から児童手当の差し押さえはしないということでした。差し押さえ禁止財産というのは、児童手当はもちろんですけども、年金とか給料の一部とかたくさんあるんですよ。だから私が一般質問で示した2人分の2カ月分の年金という、その方も生活費がなくなってるわけですよ。やはりその差し押さえ禁止財産、あくまでも原資が差し押さえ禁止財産であるということがはっきりわかるような差し押さえが現在、これからはなさらないとは思いますが、そういうことが行われてきたのが現実です。ですからこの鳥取の判決を見るように、この差し押さえ禁止財産を差し押さえる、原資があくまでも差し押さえ禁止財産ということがわかるような差し押さえは決してなさってはならないと思います。

実際、私は例には出しませんでしたけども、本当に子供さんが3人いて、児童手当だけの振り込みの通帳というのも実際国保税が滞納して差し押さえられてる方がおりました。ですけれども、やはりこれだけではなくて幾つかそういう年金とかあるわけですよ。年金だって全然なくなれば、もう2カ月間どうして生活しているかわからないわけですよ。ですから、こういうことをしっかりと市長はもちろんおわかりになってると思いますけれども、今後こういう差し押さえ禁止財産は絶対差し押さえしないというようなことにしていきたいと思います。

私の今回お願いした資料を見ましても、年金が振り込まれる偶数月が奇数月よりもすごく多いんですね。そしてまた、児童手当が振り込まれる月、2月、6月、10月、特に10月や2月なんかは100件以上差し押さえ件数がございます。やはりこれは差し押さえ禁止財産というか、その預金なり児童手当が振り込まれることを予測しての差し押さえじゃないかと思えます。市長は後はそういうことはないということをさっきもおっしゃっていただきましたけど、現実と

してこういうことが行われているということを押さえてみていただきたいと思います。

そして、この差し押さえ金は返還すべきと思いますが、市長、どうお考えでしょうか。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 先ほど申し上げましたが、判決が出る以前の案件については、これはもう児童手当も、今、今泉委員がおっしゃったように100件あったとかという、それを返還するということはきちんとした支出理由がないと逆に監査請求受けるんじゃないでしょうかね、住民監査請求。ですから、それは実際のところ国からきちんとした法令等の文書等がない限りはそれはできないわけですので、長井市独自でこれをやるということは私には考えございません。これはもうむしろ市民の方が納得しないだろうというふうに思っております。

あと、その鳥取県知事のコメントなんか見ますと、滞納処分についての対応マニュアルを見直したいと。ですから今泉委員がおっしゃるように、まず児童手当の今回専用口座なんですよ。その判例が出て、これは違法だということでもありますので、そういった件についてはこれはしてはならないということだと思います。長井市もそういったことは通知来ない来るかわからず、まずは当面しないと。

ただ、年金についてはそういった判例等がありませんので、これらについては今後どういう対応するか、きちんと県あるいは国などと協議しながら進めていかなければならないのかなど。今の段階で年金等も差し押さえしないということはなかなか難しいと思います。ただし、先ほど来申し上げていますようにできるだけ差し押さえはしないように、相談も受けてもらうような格好をまず最優先に方向を変えていかなきゃいけないというふうに思っておりますが、だからといって一切しないということは差し押さえしないということですよ。それも今の段階で

は私のほうから申し上げるような状況ではないと思いますので、今泉委員のおっしゃる趣旨はよくわかりますが、できるだけそういったことは慎重にして、相談収納を心がけるということですね。

相談収納のための検討策については、先ほどから何遍も申し上げていますが、いろいろその方法については検討させていただきたい。しかし、こちら相手の事情をできるだけわかって、相手の滞納者の方の立場に立って考えていくそういった収納方法に重点を置きたいというふうに思います。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 今、市長から前向きなご答弁もいただきましたけども、まず最後に再度申し上げます。

差し押さえによる強制徴収から相談収納の転換ということで今お答えもいただいておりますが、生活困窮者の最後の糧を奪い取り貧困と絶望にたたき落とすなど、どんな理由があっても差し押さえは許されません。人権を無視した強権的な取り立てはやめ、住民の生活の実態をよく聞き、親身に対応する相談収納業務への転換が必要と思います。

最後に、もう一度市長のその決断というか、お考えを伺います。

○大道寺 信委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 繰り返しになりますが、差し押さえをしないということはこれできないと思います。差し押さえを一切しないということになりますと、本当収納率がたがた下がると思います。そうじゃなくて、やはり本人と一回も連絡がとれないままの差し押さえをできるだけ抑える。こちらから一生懸命努力します。ただ、もう逃げ回って一切無視してるという方ももしかあるかもしれません。そういった場合は、やっぱりこれは手続的にしなきゃいけないケースも出てきますが、これは納税しなきゃいけないと

いうそういう意識を持っておられる。しかし、いろんな事情でできない。そういう方に対しては、きちんとそれに応えられるような体制をとっていくということでより相談収納を門戸を開くといいますかね、そういった努力をしていくということでお許しいただきたい。差し押さえしないというわけにはいかないと思いますので、よろしく願いいたします。

○大道寺 信委員長 4番、今泉春江委員。

○4番 今泉春江委員 もちろん悪質な、財産があっても納税しないという方も中にはおられるそうです。ですから、そういう方や何かは差し押さえということもあり得ると思います。やはり生活困窮者と言うとちょっと失礼な言い方ですけども、やはり今市長のおっしゃったように相談収納、もう本当に差し押さえでなく収納率が上がったということであれば、こんなに本当がいいことはないわけですね。ぜひそういう方向に向けていただきたいと思います。

市長は本当に前向きな答弁をいただいたと私は理解いたします。ぜひ今後もその相談収納、それから差し押さえ禁止財産が原資である差し押さえはしないということをお約束いただき、私の質問を終わります。ありがとうございます。

○大道寺 信委員長 以上で通告による総括質疑は終わりました。

これから各会計補正予算案の細部審査に入ります。

なお、質疑に当たっては、答弁者並びにページ数をお示しの上、お願いいたします。

議案第86号 平成25年度長井市 一般会計補正予算第7号についての 質疑

○大道寺 信委員長 まず、議案第86号 平成25